

YouTube からの動画や音楽のダウンロードについて

YouTube または YouTube Music から動画や音楽を録音したいと考えたときに、いつも著作権法に違反しないかどうかと不安になります。また、YouTube には利用規約というものがあり、それにも違反しないか気になります。

ここではそのあたりについて、各種資料から疑問と答えを探っていきたいと思います。

Q1: YouTube から動画や音楽をダウンロードするのは違法な行為か？

An: 著作権法上の違法ダウンロードには該当しないが、YouTube 利用規約には違反する。

(1) YouTube 利用規約に違反する理由

- YouTube の利用規約に、「本サービスの利用には制限があり、以下の行為が禁止されています。」とあり、その中に「ダウンロード」があることから、YouTube から動画や音楽をダウンロードすることは、明らかに YouTube 利用規約に違反していると言えます。
- なお、利用規約の中には「アカウントの停止と解除」という項目があり、そこには「お客様による本契約への違反が深刻である、もしくは繰り返される場合、(途中略) YouTube は、お客様の Google アカウントまたはお客様の本サービスの全部もしくは一部へのアクセスを停止または解除する権利を留保します。」とあり、利用規約に違反した場合のペナルティについても明記しています。



利用規約

【参考資料】 <https://www.youtube.com/t/terms>

日付: 2023 年 6 月 1 日

YouTube へようこそ (抜粋)

許可と制限事項

お客様は、本契約および適用される法律を遵守する限り、本サービスにアクセスして利用できます。お客様は個人的で、非営利目的の用途でコンテンツを視聴できます。また、埋め込み型 YouTube プレーヤーに YouTube 動画を表示させることもできます。

本サービスの利用には制限があり、以下の行為が禁止されています。

本サービスまたはコンテンツのいずれかの部分に対しても、アクセス、複製、ダウンロード、配信、送信、放送、展示、販売、ライセンス供与、改変、修正、またはその他の方法での使用を行うこと。ただし、(a) 本サービスによって明示的に承認されている場合、または (b) YouTube および (適用される場合) 各権利所持者が事前に書面で許可している場合を除きます。

アカウントの停止と解除

YouTube による解除と停止

(a) お客様による本契約への違反が深刻である、もしくは繰り返される場合、(b) 法的義務もしくは裁判所の命令に従うために必要である場合、または (c) 他のユーザー、第三者、YouTube、YouTube の関係会社のいずれかに不利益または損害を与える (もしくはその可能性がある) 行為が行われていると YouTube が判断する場合、YouTube は、お客様の Google アカウントまたはお客様の本サービスの全部もしくは一部へのアクセスを停止または解除する権利を留保します。

(2) 著作権法上の違法ダウンロードには該当しない理由

- ・「著作権法上の違法ダウンロード」に該当するのは、以下にあるとおり「違法にアップロードされた有償の音楽・映像を違法と知りながらダウンロードする行為」です。しかし、YouTube にアップロードされている動画や音楽はほとんどこの要件に該当しないので、違法にアップロードされたものには当てはまりません。

【参考資料】 <https://global-law.gr.jp/legal/entry46/index.html>

弁護士 中村美絵氏の HP（平成 24 年 10 月 15 日更新）から引用しました。

- ・「著作権法の一部を改正する法律」が平成 24 年 6 月 20 日に成立し、同月 27 日に公布されました。そして、改正著作権法のうち、違法ダウンロードの刑罰化に係る規定が、平成 24 年（2014 年）10 月 1 日から施行されています。
- ・「違法ダウンロードの刑罰化」とは、「私的使用の目的をもって、有償著作物等の著作権又は著作隣接権を侵害する自動公衆送信を受信して行うデジタル方式の録音又は録画を、自らその事実を知りながら行って著作権又は著作隣接権を侵害する行為」、つまり、違法にアップロードされた有償の音楽・映像を違法と知りながらダウンロードする行為について、2 年以下の懲役または 200 万円以下の罰金、あるいはその双方が科せられるというものです。

（著作権法第 119 条第 3 項）

- ① 対象となるのは、「有償著作物等」といって、店頭やネット上で有料販売されている音楽、映画などです。したがって、テレビで放送されただけで、有償で提供・提示されていない番組は、有償著作物等には当たりません。
- ② 違法に配信されている音楽や映像を視聴するだけでは、録音又は録画を伴わないため、違法ではなく、刑罰の対象にもなりません。
また、故意犯のみを処罰の対象としているため、違法に配信されている音楽や映像であることを知らなかった場合には、刑罰の対象となりません。
違法なサイトかどうかを区別するには日本レコード協会が発行する「エルマーク」の認証表示が目安になります。
なお、この刑罰は親告罪（第 123 条）とされているため、権利者からの告訴がなければ公訴提起はできません。
- ③ 「YouTube」などの動画投稿サイトでストリーミング（逐次再生）と呼ばれる方式で視聴する行為については、違法ではなく、刑罰の対象とはなりません。

- ・また、YouTube 利用者がアップロードする音楽系の動画において、特に「JASRAC」「NexTone」等が著作権を管理している楽曲については、YouTube 側で包括契約を結んでいるため、著作権の侵害に当たらない場合が多いです。

JASRAC[®]

🌐 🔍 ☰

Music Users

YouTubeなどの
動画投稿（共有）サービス
での音楽利用

YouTubeなどJASRACが利用許諾契約を締結している動画投稿サービスにつきまして、動画の投稿者は一定の範囲内でのご利用であれば、JASRAC管理楽曲を含む動画を手続きなくアップロードすることができます。

ただし、利用方法によっては、個別に手続きが必要となる場合があります。

JASRAC[®]

🌐 🔍 ☰

利用許諾契約を締結しているUGCサービスの一覧（最終更新：2025年1月24日）

動画投稿（共有）サイトやブログサービス等のUGC（User-Generated Contents）サービスでJASRAC管理楽曲を利用されることについて、一般ユーザーの皆さまからのお問い合わせが多いことから皆さまの利便性を考慮し、JASRACと利用許諾契約を締結しているUGCサービスの一覧を公表します。

JASRACと利用許諾契約を締結している以下のサービスでは、一般ユーザーの皆さまが個別にJASRACへ利用許諾手続きを行なわなくともJASRAC管理楽曲を利用したUGC（動画・歌詞）をアップロードすることが可能です。

なお、ネット広告・アフィリエイト広告関連事業者の皆さまにおかれましては、法令規則遵守の観点から、無許諾UGCサービスの運営者に対する広告出稿について十分留意いただきますようお願いします。

一部のみ抜粋

- ・ [SHOWROOM](#) （※1）
- ・ [Stellamy](#) （※1）
- ・ [Threads](#) 
- ・ [ツイキャス](#) 
- ・ [Twitch](#) 

- ・ [Mirrativ](#) （※1）
- ・ [Mildom](#) （※1）
- ・ [YouTube](#) 
- ・ [LIVE812](#) （※1）
- ・ [LINE](#)（取扱い等の詳細は[こちら](#) 

3

Q2: YouTube からダウンロードするのは規約違反とのことですが、パソコンから流れている音楽の音を録音することも規約違反になりますか？

An: パソコンのスピーカーから流れる音を再生しながら録音することは、元の音源をそのままコピーするダウンロードとは異なり、別の媒体に録音するのと同じことと考えられるので、規約違反にはならないと考えられます。

【参考資料】 Audials2024 の場合

- 有料録音ソフトである Audials2024 というソフトでは、従来は、どのサブスクサイトからも音楽をダウンロードできていましたが、現在は YouTube からダウンロードする機能が削除されています。しかし、「YouTube のコンテンツは引き続き、Audials で再生しながら録音／録画を行っていただけます。」と併記しています。



- 同じように YouTube Music で録音しようとする、「プライバシーと法的情報」として「データ保護」に関する注意が記載されています。

YouTube Music の場合も、音楽を最初から終わりまでずっと再生しながらでしか録音できないようになっています。

